

二九七九番

まそ鏡かがみ 直目ただめに君きみを 見みてばこそ 命いのちに向むかふ
我わが恋こひ止やまめ

二九八〇番

まそ鏡かがみ 見飽みあかぬ妹いもに 逢あはずして 月つきの経へぬ
れば 生いけりともなし

二九八一番

祝部はふりらが 斎いはふ三み諸もろの まそ鏡かがみ かけして憊ひつ
逢あふ人ひとごとに

二九八二番

針はりはあれど 妹いもしなれば 付つけめやと 我われを惱なや
まし 絶たゆる紐ひもの緒を